※令和４年度以降入学生用

学校番号	3008

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　現代の国語」（大修館書店）						
副教材等	「漢字能力検定 7～2 級対応 書きたくなるアシスト常用漢字」（数研出版）など						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会人として必要な国語力を身に付けていきます。
ノートを使います。就職や進学に向け、正確で丁寧な字を書く力を身に付けましょう。
文章を読むことが多くなります。話すとき、聞く時のメリハリをつけて授業に臨んでください。
自分で考え、積極的に発言していくようにして下さい。
提出物は期限を守り遅れないようにしましょう。

２　学習の到達目標

［知識・技能］
・実社会に必要な語句や常用漢字を身に付け使うことが出来る。
・さまざまな情報の中から正確に必要な情報を判断することが出来る。
［思考・判断・表現］
・議論の中で、自分の意見を話すことが出来る。
・伝えたい事を整理して、説明資料を作ることができる。
［主体的に学習に取り組む態度］
・実用的な文章や論理的な文章を読み、自分の意見や考えをまとめ、文章にすることが出来る。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な語句や常用漢字など、国語に関する知識を身に付け、定着を図ろうとする。また、文章に含まれる情報を正確に把握し、適切に使用しようとする。	学習の目的に沿って意見を出そうとする。また、他者の意見を聞こうとする。実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見をまとめようとする。	学習課題に沿って、他者と関りを持ち、自分の考えや思いを深めようとする。また積極的に学んだことを使おうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	コミュニケーションについて学ぶ。 ［教材］ コミュニケーションは技術だ	a：コミュニケーションが上手いと得意の違いを理解している。 b[読]：コミュニケーションとスポーツの共通点を理解している。 c：コミュニケーションにおいてうまくいったこと、失敗したことについてまとめている	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート ノート
	場面に応じた言葉遣いを選ぶ。 基本的な文の書き方を学ぶ。 ［教材］ ことばの使い分け 正しく書こう	a：話し言葉、書きことばの使い分けを理解している。また接続詞について理解している。 b[書]：敬語を使い分け、正しく使うことが出来る。 c：生徒同士で敬語を使い話す練習をしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動の観察
	伝えたいことを文章で正確に伝えるわかりやすい文章を書く。 ［教材］ 絵や写真を説明しよう	a：一文一義を意識し、冗長な文章にならない文章が書ける。 b[書]：説明に必要な情報が正確に把握できている。 c：生徒同士で説明しあい、改善点を伝えあうことができる。	定期考査 ワークシート	定期考査	ワークシート ノート 行動の観察
二学期	自分にとって必要な情報を正確に聞く。 相手の考えを聞き出す。 ［教材］ 聞き取りのレッスン ミニインタビューをしよう	a： 多くの情報の中から自分に必要な情報を聞き取ることが出来る。 b[話/聞]：相手の話を聞きだす工夫をしている。 c： 生徒同士でインンタビューを行い、相手の意見聞ける。また自分の意見が言える。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動の観察
	情報をまとめ、他者に伝える文章を書く。 ［教材］ 聞き取ったことをまとめよう	a：インタビューの中から必要な情報をまとめることが出来る。 b[書]：まとめた情報をわかりやすい文章にすることが出来る。 c：生徒同士で文章に助言しあうことができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ノート 行動の観察
	文字や図形などから情報の与える効果の違いについて学ぶ。 ［教材］ 情報の力関係	a：文章中の常用漢字の読み書きが出来る。メディアとは何か理解している。 b[読]：どんなメディアにおいても、情報には力関係が生まれることを理解する。 c：文章を読んで面白いと思ったこと、考えたことなどをまとめることが出来る。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート
三学期	対話をする力を高める。コミュニケーションでの言葉以外の要素の大切さをしる。 ［教材］ 対話のレッスン	a：相手や場面によって話し方、伝え方が違うことを理解できる。 b[話/聞]：相手の気持ちを考え話すことができる。 c：生徒同士で場面や相手を想定して対話の練習が出来る。	定期考査	ワークシート	ノート 行動の観察
	働くとはどういうことか考える。 ［教材］ 何のために働くのか	a：なぜ働くのか筆者の述べている考えを理解できる。 b[読]：筆者の考えに対し、自分はどう思うか考えることが出来る。 c：働くことについて自分の考えをまとめることができる。	定期考査 小テスト	ワークシート	ノート

※令和４年度以降入学生用

	自分の意見をまとめ意見文として書く。 ［教材］ 意見文の基礎を学ぼう	a：意見文の書き方、構成のしかたがわかる。 b[書]テーマに沿って理由と根拠のしっかりとした意見文が書ける。 c：自分の文章を推敲しよりよいものにしようとしている。	定期考査	ワークシート	ノート 行動の観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間